

水素社会をみんなで考える ワークショップ

高校生が水素社会を深掘りしてみた

資源の少ない日本にとって、「脱炭素」と「エネルギー安定供給」、「経済活力の創出」を実現する切り札と目される水素。いま、播磨臨海地域を舞台に新たなプロジェクトが動きだそうとしています。高校生が先進企業の取組を見聞きして「水素社会」について考えるワークショップを開催します。

日時 令和7年3月24日（月）9時～17時半

場所 加古川プラザホテル 2階 鹿児の間

参加者 播磨地域のSSH指定校から
モノづくりやSDGsに興味のある高校生（約40名）

取材申込 3月21日（金）までに 藤井（TEL:078-362-3294）まで

内容

9時～12時 **ガイダンス・三菱重工業高砂水素パーク見学会**

見学会の取材はお受けいたしかねますので、ご了承ください

13時30分 **ワークショップ**

- ・ 県内の水素トッパンランナー企業等による取組の紹介
川崎重工業、関西電力、神戸製鋼所、トヨタ自動車
 - ・ グループディスカッション・成果発表
- 17時30分 **水素を知ってもらうために水素社会を深掘り等**



<https://www.mhi.com/jp/news/23092003.html>

◇ワークショップ進行

兵庫県政策コーディネーター 岩浅有記（いわさ ゆうき）



【略歴】 H15.4～R3.3 環境省
R3.4～ 大正大学准教授

専門分野

自然環境政策、生物多様性、
グリーンインフラ、
アドベンチャーリズム等

◇会場・集合場所

加古川プラザホテル
2F 鹿児の間

JR加古川駅から
徒歩5分

加古川市加古川町溝之口800

TEL.079-421-6012

